

## 第9回 KITライフサイエンスセミナー



演者 鈴木芳人

元中央農業総合研究センター  
総合的害虫管理研究チーム長



### 稲の最重要害虫イネウンカ類との闘い

日時 2017年7月21日(金) 13:00-14:30  
会場 京都工芸繊維大学 3号館 2階 0322号室  
対象 教員, 学生, 一般の方

江戸時代の3大飢饉をもたらしたのは米の凶作でした。享保の大飢饉では一説に100万人が餓死したといわれます。その犯人が本日の主役、イネのウンカ類です。長年にわたり凶作をもたらしてきたこの害虫は、今もなおアジアの稲作をおびやかしています。日本の応用昆虫学分野は総力をあげてウンカ類と闘ってきました。ウンカ類の海外飛来の解明や発生予測技術の開発はその成果です。さらに、ウンカの卵を殺すイネの生化学反応と遺伝様式、移動型のウンカ類が出現するメカニズム、天敵の潜在能力などが次々に明らかにされ、発生予測の精度が向上しました。しかし、米作りは今も危機に直面しています。普及した殺虫剤に対してウンカ類が抵抗性を発達させてきたためです。講演では生態学・生化学・遺伝学にまたがるウンカ類研究の歴史的展開を紹介し、誤解の多い殺虫剤抵抗性対策を再検討します。